

平成31年度第1回倉敷市廃棄物減量等推進審議会

日 時：令和元年7月25日（木）
13時30分～

場 所：倉敷市役所 特別委員会室

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 局長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 事務局紹介

―― 議 事 ――

- 6 倉敷市廃棄物減量等推進審議会について
(審議会の位置付け、市と審議会の役割)
- 7 倉敷市の一般廃棄物処理について
 - (1) 平成30年度のごみ処理実績
 - (2) 暮らしキック20と5Rの取り組み
 - (3) 目標達成に向けた施策（59施策）(休憩10分)
 - (4) 質疑応答
- 8 平成30年7月豪雨災害における災害等廃棄物処理事業の振り返りについて
 - (1) 被害状況
 - (2) 進捗状況
 - (3) 意見交換
- 9 閉会

第13次倉敷市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

所属	役職名	氏名
くらしき作陽大学 食文化学部	教授	あみなか まきひと 網中 雅仁
倉敷市栄養改善協議会	副会長	いしい こ 石井 つる子
倉敷再生資源事業協同組合	代表理事	いとう しげお 伊藤 繁雄
倉敷市議会議員 環境水道委員会	委員長	いとう ゆうき 伊東 裕紀
倉敷商工会議所	総務部総務課長 兼産業振興課長	いのうえ ひろやす 井上 裕康
イーブくらしきネットワーク	副代表	えぐち しずえ 江口 静江
倉敷市環境衛生協議会	理事	おおや のりゆき 大屋 徳敬
倉敷ファッションセンター株式会社	取締役部長	かわひがし まさたけ 川 東 正武
倉敷市愛育委員会連合会	会長	さとう ちづこ 佐藤 千津子
市民公募		たかき ようこ 高木 洋子
倉敷市婦人協議会	副会長	たけのり けいこ 武則 啓子
市民公募		たなべ とくこ 田邊 徳子
イオンモール株式会社 イオンモール倉敷	渉外部長	なかむら ゆきとし 中村 幸利
倉敷美誠清掃協同組合	専務理事	なかやま かずまさ 中山 一将
パートナーシップ向上セミナー	修了生	ひやくもと けいこ 百本 恵子
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	教授	ふじわら たけし 藤原 健史
倉敷市議会議員 環境水道委員会	副委員長	やぶた たかのり 藪田 尊典

(50音順 敬称省略)

倉敷市廃棄物減量等推進審議会事務局名簿

所属	役職名	氏名
環境リサイクル局	局長	みやけ ゆきお 三宅 幸夫
リサイクル推進部	部長	ひらまつ きだよし 平松 定義
リサイクル推進部	次長	ほかにむら ひろゆき 外村 博之
リサイクル推進部 一般廃棄物対策課	課長主幹	おおたき しんや 大瀧 慎也
リサイクル推進部 一般廃棄物対策課	課長主幹 企画係長	とみやま のりこ 富山 典子
リサイクル推進部 一般廃棄物対策課	主 幹 管理係長	うちだ かずみ 内田 和美
リサイクル推進部 一般廃棄物対策課	主 幹 リサイクル推進係長	こかど きくお 古角 菊雄
リサイクル推進部 一般廃棄物対策課	指導係長	あきやま まさとし 秋山 雅俊
リサイクル推進部 一般廃棄物対策課	指導係主任	みやもと ゆきのり 宮本 幸典
リサイクル推進部 一般廃棄物対策課	指導係主任	ふじい たつや 藤井 竜也
リサイクル推進部 一般廃棄物対策課	企画係主事	ふくおか まさと 福岡 雅人

6 倉敷市廃棄物減量等推進審議会について

(1) 目的

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の7の規定により、市民、事業者及び行政が一体となって、一般廃棄物の排出を抑制するとともに、廃棄物の減量化、資源化、再生利用等を積極的に推進し、使い捨て社会からリサイクル社会への転換を目指し、もって生活環境の保全を図るため、倉敷市廃棄物減量等推進審議会を設置する。(倉敷市廃棄物減量等推進審議会条例第1条)

(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第5条の7 抜粋)

市町村は、その区域における一般廃棄物の減量等に関する事項を審議させるため、廃棄物減量等推進審議会を置くことができる。

(2) 審議会と行政の役割

(ア) 審議会の役割

- ・ 審議会とは、地方自治法（第138条の4第3項）に基づき設置された、執行機関（行政）の附属機関である。
- ・ 当審議会では、廃棄物減量等の推進について審議し、会としての意見、答申を述べることを役割としている。

(地方自治法 第138条の4第3項 抜粋)

普通地方公共団体は、法律又は条例の定めるところにより、執行機関の附属機関として自治紛争処理委員、審査会、審議会、調査会その他の調停、審査、諮問又は調査のための機関を置くことができる。

(イ) 行政の役割

審議会の意見、答申を尊重し、個々の行政施策を責任を持って決定、実施することを役割としている。

(3) 審議事項

- (ア) 廃棄物の実態把握、調査及び研究に関すること。
- (イ) 廃棄物の減量化に係る普及及び啓発の活動に関すること。
- (ウ) 廃棄物の減量化、資源化、再生利用等の促進に関すること。
- (エ) 倉敷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例に規定する一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処理費用の改定に関すること。
- (オ) 前各項に掲げるもののほか必要な事項に関すること。

(4) 組織

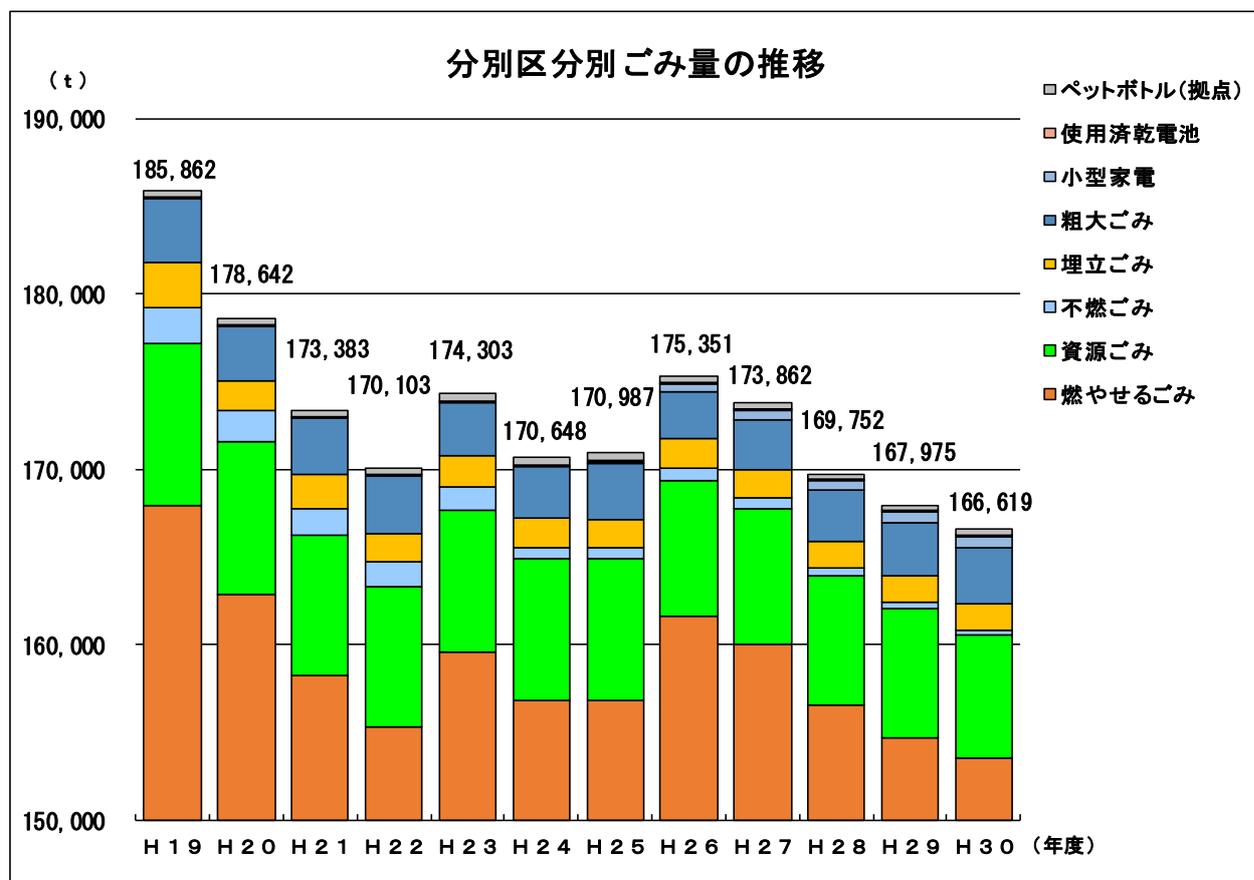
- (ア) 学識経験者
- (イ) 事業者団体の代表者
- (ウ) 廃棄物再生事業者団体の代表者
- (エ) 市民
- (オ) 前各項に掲げるもののほか市長が必要と認める者

7 倉敷市の一般廃棄物処理について
 (1) 平成30年度のごみ処理実績
 ア ごみ排出量の推移

166,619t (対前年度比 -0.8%)

単位:t

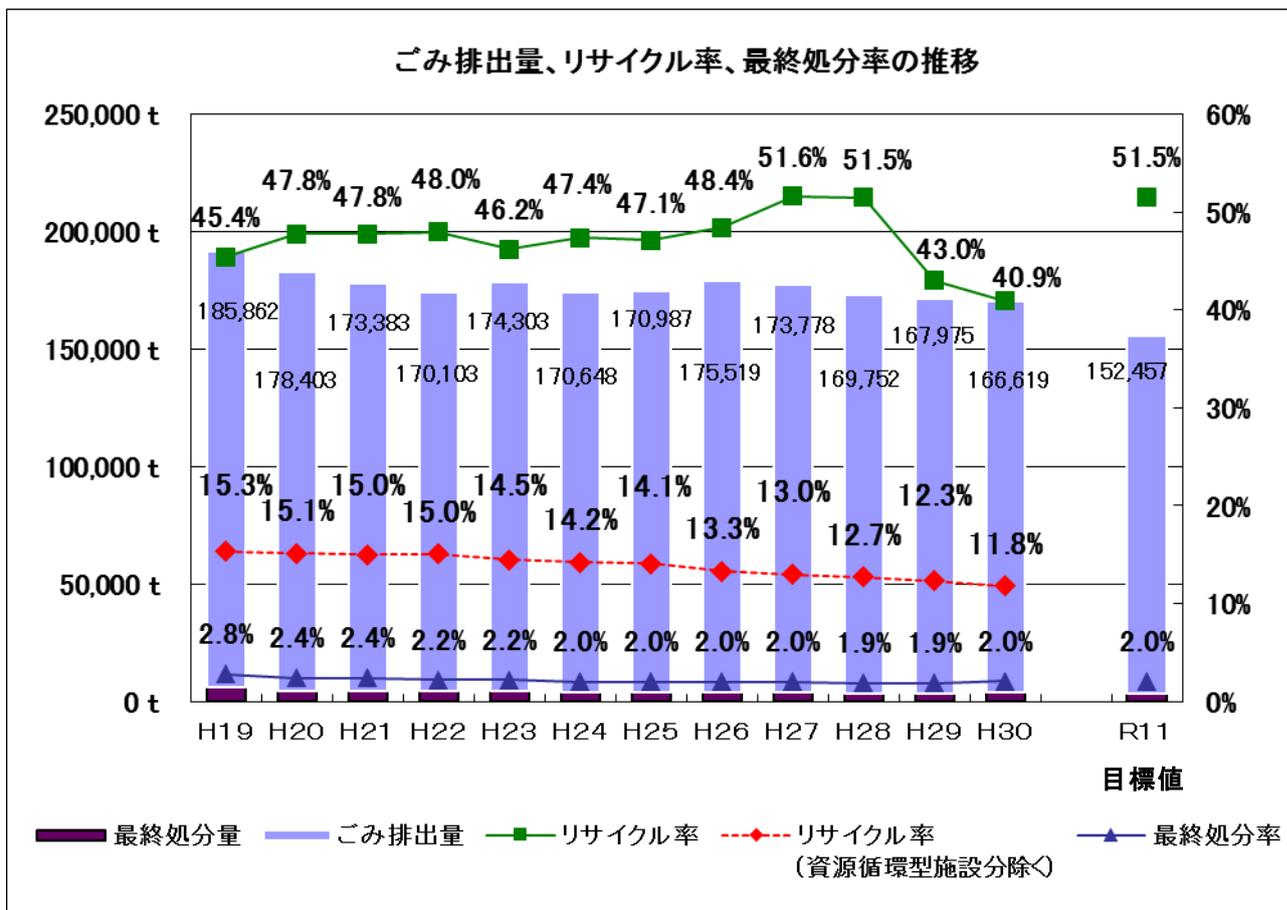
	総排出量	燃やせるごみ	資源ごみ	不燃ごみ	埋立ごみ	粗大ごみ	小型家電	使用済乾電池	ペットボトル(拠点)	集団回収
H19	185,862	167,894	9,310	1,990	2,599	3,637		77	355	19,467
H20	178,642	162,861	8,675	1,786	1,761	3,094		84	382	18,754
H21	173,383	158,235	7,994	1,555	1,911	3,201		88	399	18,542
H22	170,103	155,335	7,992	1,381	1,636	3,269		78	414	17,867
H23	174,303	159,559	8,127	1,306	1,805	3,044		74	388	17,458
H24	170,648	156,863	8,037	659	1,633	2,981		71	404	16,779
H25	170,987	156,824	8,046	675	1,596	3,221	101	81	443	16,376
H26	175,351	161,586	7,785	695	1,722	2,623	486	92	362	15,586
H27	173,778	160,044	7,718	604	1,617	2,877	496	90	332	14,920
H28	169,752	156,556	7,340	489	1,499	2,943	499	89	337	14,244
H29	167,975	154,719	7,306	400	1,535	3,017	562	88	349	13,089
H30	166,619	153,509	7,049	272	1,528	3,154	636	93	378	11,880
前年対比	99.2%	99.2%	96.5%	67.9%	99.5%	104.5%	113.1%	105.9%	108.3%	91%
前年差	-1,356	-1,209	-257	-128	-7	137	74	5	29	-1,209



イ 家庭ごみ・事業ごみ・資源ごみ別の排出量（単位：t）

区分	H30	H29	対前年	
家庭ごみ	88,931	90,111	-1,180	-1.3%
事業ごみ	70,168	70,122	46	0.1%
資源ごみ	7,520	7,742	-223	-2.9%
ごみ総排出量	166,619	167,975	-1,357	-0.8%

ウ リサイクルと最終処分率の状況



(2) 暮らしキック20と5Rの取り組み

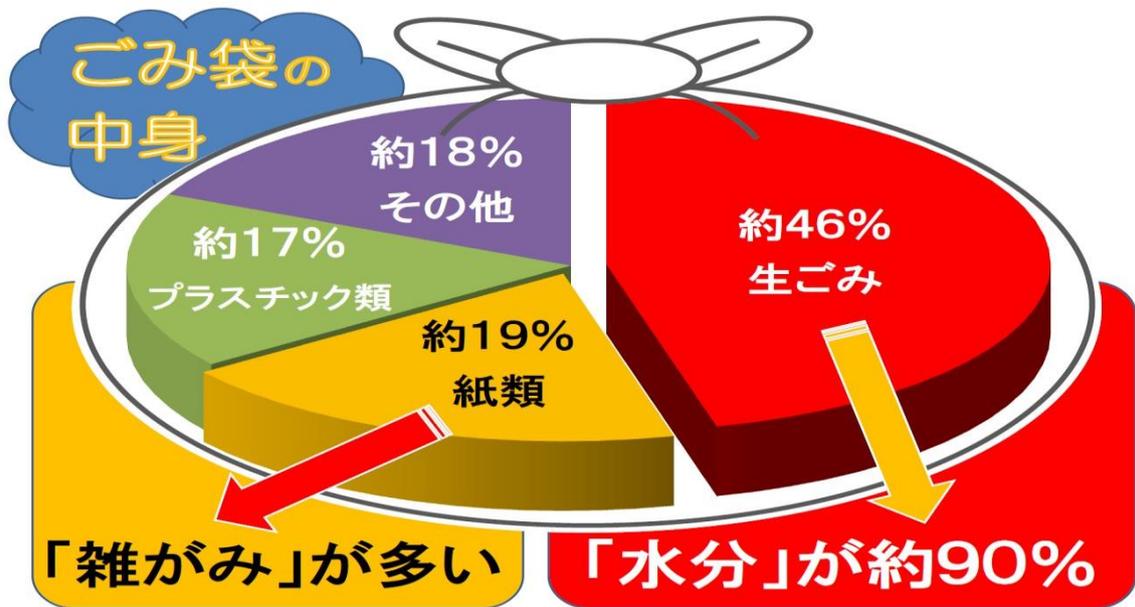
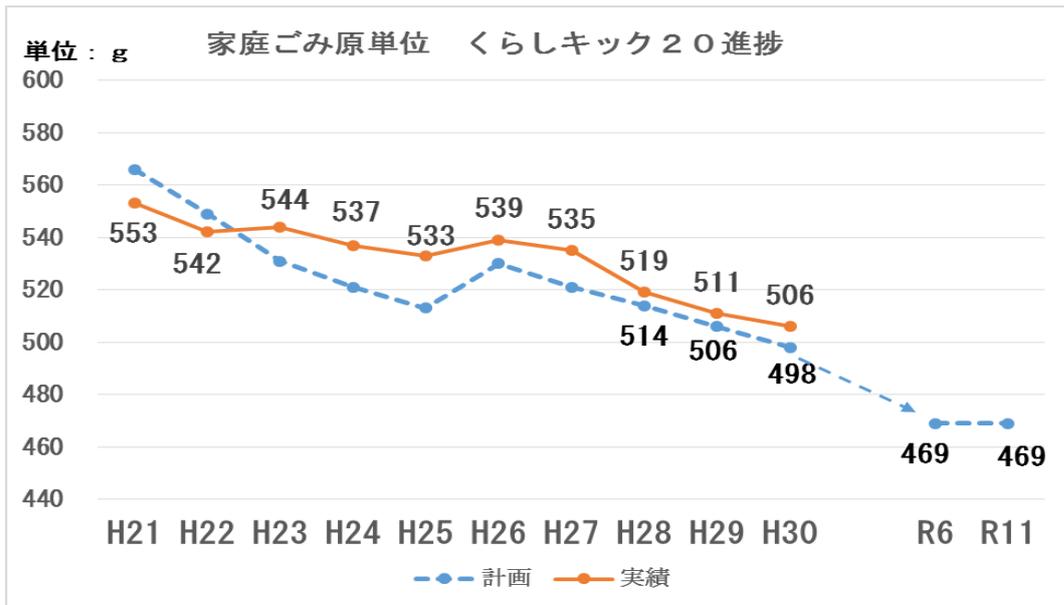
平成19年度を基準とし、令和6年度までにごみを20%以上削減する目標を表している愛称のことで、「くらしき」で「暮らし」の中から「20%」のごみを減量「キック」という意味が込められている。

ア 家庭ごみ

★ 1人1日あたり **118g** のごみを減らすこと！

H19 587g → H30 506g → R6 469g (目標)

残り 37g



ごみ減量の切り札

① 生ごみの水切り

生ごみの…

約90%は **水分**

水切りの徹底を

+

② 雑紙の分別

燃やせるごみの…

約19%は **紙類**

リサイクルできる「雑紙」の分別を

イ 事業ごみ

★事業ごみは目標達成までかなりの減量が必要！

H19

H30

R6

73,685 t

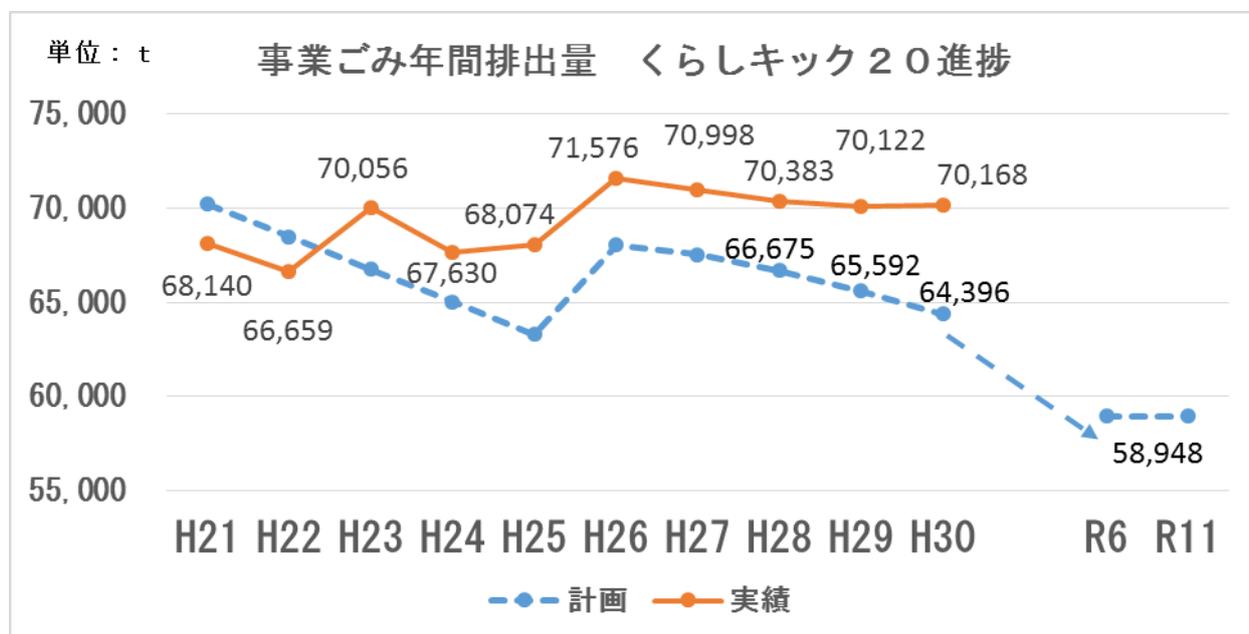
70,168 t

58,948 t

(目標)

事業ごみ削減への取り組み

- ・搬入物検査の強化
- ・大規模事業所への指導



ウ 5Rの取り組み

5 5Rの取り組み

